

第2講 資料の評価と活用

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] データ・資料の収集と評価の方法

1 前回までの発表について

- 問いがはっきりしている論文とそうでない論文
- 問い - 答えと、それに関連する諸要素は、論文中にどのように配置されているか?

2 雑誌と論文の種類

2.1 雑誌の性質

- 出版している主体
- 執筆者の属性
- 投稿された論文を雑誌にのせる基準 (査読制かどうか)

専門家による審査 (peer review) がある場合、通常の審査手続きはつぎのようになる :

- 編集委員が審査員をえらぶ (ふつう複数)
- 審査員にまわして判断を求める
- 審査員が一致して「掲載可」なら、そのまま掲載 (accept)
- 審査員が一致して「掲載不可」なら、掲載不可 (reject)
- 意見が割れた場合は編集委員が判断
- 「条件付」の場合は書き直して再提出・再審査

Peer Review 制雑誌は権威が高い。また、形式面でのチェックもきちんとかかっていることが多い。この制度を持つことが「学術雑誌」の要件のひとつとみなされていることが多い。

ただし掲載まで時間がかかること、独創的な論文は載りにくいなど、欠点もある。

2.2 雑誌に掲載される文章のいろいろ

- 原著論文 (ふつうの論文)
- 研究ノート・調査報告など: 原著論文より質は落ちるが、速報性を要求されるもの
- 総説 (review): 既存の文献を大量に集めて紹介・評価するもの
- その他 (書評や各種の記事、学会大会の要約など)

2.3 投稿論文と依頼論文

- 投稿論文.....通常の手続きで投稿・審査
- 依頼論文.....編集委員会の依頼で書く (テーマのきまった特集論文など)。審査のある場合とない場合がある。ある場合でも緩いことが多い

3 1次データ・2次データ

実証研究に用いるデータについては、「1次」「2次」の区別をすることがよくある：

1次データ： 自分自身で新規に (実験・調査・発掘・シミュレーションなどによって) 収集したデータのこと

2次データ： 他人が収集した (公開された) データのこと

1次データの場合にはデータ収集の方法や過程を自分自身が知っていて問題点を認識しやすいが、2次データの場合には必ずしもそうではない。

メタデータ、パラデータとその評価 (社会と調査 2017)
研究不正と実験ノート

4 1次資料・2次資料・3次資料

一方で、公刊された資料を利用する場合、その資料を「1次」(primary)、「2次」(secondary)、「3次」(tertiary)等に分類することもある：

Primary sources are original materials that are close to an event, and are often accounts written by people who are directly involved.An account of a traffic incident written by a witness is a primary source of information about the event; similarly, a scientific paper documenting a new experiment conducted by the author is a primary source on the outcome of that experiment. Historical documents such as diaries are primary sources.

A secondary source provides an author's own thinking based on primary sources, generally at least one step removed from an event. It contains an author's analysis, evaluation, interpretation, or synthesis of the facts, evidence, concepts, and ideas taken from primary sources. They rely on primary sources for their material, making analytic or evaluative claims about them. a review article that analyzes research papers in a field is a secondary source for the research. A book by a military historian about the Second World War might be a secondary source about the war, but where it includes details of the author's own war experiences, it would be a primary source about those experiences. A book review too can be an opinion, summary or scholarly review

Tertiary sources are publications such as encyclopedias and other compendia that summarize primary and secondary sources. Many introductory undergraduate-level textbooks are regarded as tertiary sources because they sum up multiple secondary sources

(Wikipedia 2019)

この分類の場合、公刊された資料の範囲で議論の根拠をどこまでさかのぼれるか、が問題である。

5 データ・資料の選択・収集とその評価

- 各自が収集した論文について、その主要な根拠であったデータ・資料について、上記の分類をあてはめてみよう
- 各自の研究テーマに応じて、どのようなデータ・資料があるか考えてみよう

文献

社会と調査 (2017) 「特集 パラデータの活用に向けて」『社会と調査』18: 4-61.

Wikipedia (2019) “No original research”. *Wikipedia*. <<https://en.wikipedia.org/wiki/WP:NOR>> (15 March 2019, at 23:22).